

内外政

・26日、モルドバ中央選挙管理委員会は、国外から送金された800万レイを祖国党が違法に選挙運動に用いたとする警察捜査本部による証拠書類等に基づき、30日予定の議会総選挙への祖国(パトリア)党の出馬登録の取り消しを控訴裁判所に請求。27日、モルドバ控訴裁判所は、同党の議会総選挙出馬登録を取り消す旨の決定を発表。28日、在モルドバ米国大使館は、同決定に懸念を発表。

・27日、ティモフティ大統領は、モルドバ訪問中のリンケヴィチュス・リトアニア外相と会談。リンケヴィチュス・リトアニア外相は、モルドバは民主主義と安全保障のために、リトアニアが過去に歩んだのと同じく、欧州統合路線を継続すべきである

旨発言。

・27日、レアンカ首相は、EUとの連合協定によりモルドバは安定した国家になり、安定したモルドバはロシアにとっても利益になる旨、また、モルドバは中立主義を維持し、NATOには加盟しない旨発言。

・28日、ティモフティ大統領は、モルドバ訪問中のヨハネス新ルーマニア大統領と会談し、新大統領の最初の外国訪問地がモルドバであることを歓迎する旨発言。ヨハネス・ルーマニア大統領は、30日の議会選挙はモルドバの欧州路線を強化する上で重要である旨発言。

・28日、メルケル独首相は、30日の選挙に向け自由民主党のレアンカ首相を支持する旨の呼びかけを公表。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と表記しています。

(了)